

令和6年度 第2回教科用図書東濃採択地区協議会 会議録

東濃採択地区協議会事務局

I 日 時 令和6年7月18日(木) 9:30～16:30

II 場 所 東美濃ふれあいセンター 歌舞伎ホール

III 出席者 委員35名中34名出席

IV 議事要旨

【進行】東濃地区教育長会長(中津川市教育委員会 教育長)

【事務局】中津川市教育委員会

1 会長あいさつ

- ・68名の研究調査員が、種目ごとに4回の会議をおこなって、今日の答申に向けて準備をしてくれた。本日は、その結果を各種目の代表の方に答申をしてもらう。
- ・答申者の報告をもとに、委員の皆様には、来年度、東濃地区の各中学校で使用する教科用図書について選考をしていただく。
- ・東濃の生徒たちにとって、ふさわしい教科書が採択されますよう慎重な審議をお願いしたい。

2 会の成立確認及び開会

- ・委員35名中34名出席 → 協議会の規約第11条の規定により、会の成立を確認。
- ・本日の協議会は、教科書採択の公正確保のため非公開とする。

3 経過報告

- ・6月7日から7月2日の間、各種目4回の研究員会を実施し、研究調査を行った。
- ・6月14日から27日にかけて、東濃地区内6会場で教科書展示会を開催した。

4 議 事

(1) 令和7年度使用中学校用教科用図書に係る調査研究結果の報告及び質疑応答・協議

・全種目について、研究員が「東濃採択地区基準に即した具体的な調査内容」と「調査研究結果(意見書等)」をもとに報告を行った後、質疑応答・協議を実施した。

① 【種目：国語】

- | | |
|-----|---|
| 委員 | 答申者の説明の中に出てくる「よく」と「十分」の使い分け方の共通認識を説明していた |
| Q1 | だきたい。 |
| 事務局 | 「大変よく」もしくは「十分工夫されている」、「よく工夫されている」、「工夫されてい |
| A1 | る」という3段階の表現になっている。「十分」が一番上の段階の表現となる。 |
| 委員 | 光村図書に関して、非常に内容が豊富で、情報量が非常にたくさんあると思った。1年生から語彙という言葉が使われていて、その意味や言葉について意識させるために3年間継続して、掲載されている。名作の書き出しの部分も読み手を引き付けるような書き出しである。古典芸能についても触れられていて、非常に内容が豊富で情報量が多いと思う。これらが生徒一人一人にとって有効で効果的な授業につながるために、内容の説明や、使い方につ |

いての説明が十分なされていないとせっかくの効果的な内容が、生徒の学習に反映されないのではないかと思う。

採決 <全員一致により、光村図書出版の教科書を選定>

② 【種目：書写】

委員 全体質問として、教科書展示のときの意見書に「参考資料として活用します」という文言があったが、本日のこの採択の内容の中に、一般の方の意見書は、反映されているのか。

事務局 Q2 調査研究を行っていただく際に、調査研究員には昨年度の意見については示した。今年度行われた教科書展示会の意見については、協議員にのみ示している。

委員 Q3 デジタル教科書の扱いについて、前回の資料の中に、デジタル教科書は、令和6年度以降、英語だけ配布するということがあったが、今回の採択に関しても、他教科のデジタル教科書は考慮されず、英語だけが、デジタル教科書を使うという前提で考慮されているか。

事務局 A3 デジタル教科書の調査研究を研究員の方にしていただいたのは、英語のみとなっている。その他の種目については、2次元コードについては調査してもらったが、デジタル教科書についての調査は行われていない。

委員 教科書展示で拝見したときに国語・書写に関しては、私も光村が一番いいなと思った。

採決 <全員一致により、光村図書出版の教科書を選定>

③ 【種目：地理】

委員 Q4 社会科に関して、各種目で分かれているが、採用する教科書会社が違ってよいのか。例えば1年生の時期に、地理はここでまでだから帝国書院、公民は東京書籍ということはあるのかどうか。そういうことの打ち合わせや調整は事前にあったのか。そういったことを決めていただきたい。ここで地理だけ先に採択してしまうと、そのあとの種目で手を挙げるのが苦しいが、いかがか。

研究員 A4 教科書の調査において、会社を統一するという考え方はなく、種目の中で、どれが一番分かりやすいか、子供たちが使いやすいかという点で確認をしているので、種目の統一という点では考えていない。そのようなことを配慮することもなかった。

事務局 A4 教科書の選定に関わって法令では、種目ごとに1つの発行者を選ぶとなっているので、種目ごとに発行者が異なっても、法令的には問題はない。

研究員 Q5 社会科が全部終わっての採択ではなく、地理が終わったら採択して決まっていくというこ

事務局 A5 種目ごとに採決を取っていくので、地理、地図、歴史、公民の順で、採決をとっていく。

委員 歴史と公民は現代社会の問題では、ものすごく関連が大きい。順番に決めていくと決まっているのであれば、もう何も言うことはないが、何となく手を挙げにくいと思う。

議長 種目ごとに順に採決をとる。従って社会科については、地理、地図、歴史、公民、という順番に選定していく。

研究員 1年生2年生が、地理、歴史の教科書を使うという点は配慮したが、子供たちを中心に考えたので、教科書会社を選ぶというよりは、教科書の中身を考えるということで調査研究をした。

議長 Q6 確認だが、中1中2で地理と歴史を並行して学び、その2年間の学習をもとに、おおよそ3年生なった段階で公民を学ぶということによろしいか。

研究員 A 6
議 長 Q 7
研究員 A 7
委 員 Q 8
研究員 A 8
委 員 Q 9
研究員 A 9

はい。

学習の順序としては、1・2年生で主に地理、歴史を学び、そういった学習をもとにしたながら、2年生後半から3年生で主に公民的分野の学習を学ぶ。教科書の発行者が異なると、子供たちが学びにくいとか、指導する先生方が授業しづらいということはないか。そういったことについては確認をされているか。

構成は、どの会社も本当によく似ていたし、大変よく作られている。課題、コーナーといったものとの整合を図ったときには、各者の色がある。そういったところで、先生方が戸惑うと思われる教科書や、子供たちが課題追究の中で、コーナーを行うことで、まとめになかなかないかなと思われる教科書もあったので、そういったところで評価した。

調査内容の中にQRコードの数が載っている。東京書籍は138ヶ所、帝国は85ヶ所とあるが、実際の授業の中で、QRコードを使って探究するということが多いのか。それとも家庭学習で、自分で探っていくときに必要なのか。この数の多さというのは、今回の採択の中で、影響があったか。

数については、東京書籍の方が多い。帝国の方が少ないとなっている。しかし、各者とも使い勝手は同じようになっているので、子供たちが学ぶ上では支障はないと思う。また、授業における活用については、コンテンツにアクセスさせていくときには、使い勝手が良い方がいいと思う。数が多いから、使いやすいとはならない。むしろ、子供たちが家庭学習などの場面で使う分については、DVDなどを使う東京書籍の方が使いやすいと思う。帝国書院は、「NHK for school」を使っているのだから、そこから広がりをもたせることもできる。それぞれ使い勝手は、使ってみると分かってくるので、差はないかなと思っている。

先ほどの話を踏まえてだが、地理から公民の調査を見てしまうと、例えばこの3つ目の項目（東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること）のところ明らかに、帝国が◎が2つ、東書は○がそれぞれ一つずつと差がはっきりしている。これは教科書会社のコンセプトの中で、子供が学びやすいようにというところで東濃独自の2つ目の項目が色濃く出てきていると思う。その根拠にしたことと公民だけ3つ目の項目が、帝国は◎、○、東書は◎、○と、これまでの評価と変わってきている。その根拠がはっきりしているかどうか。4種目を並べて見ているので、そこが明らかならば、私どもも納得がいくと思う。そこを教えていただければありがたい。

構成部分については、帝国書院も、東京書籍もよく似ているので、差はほとんどない。差をつけるとすると、地理、歴史においては、帝国書院の方が、まとめの段階で子供が仲間と協働して作っていき、その中でこれが正しいなと思えるような作りになっている。ところが、公民なった場合には、東京書籍の方がその分かりやすさというのが際立っている。同じ会社だから、同じような作りになるだろうと思っていたが、公民、地理、歴史でそれぞれ色があり違うなということが感じられた。地理、歴史が似通った作りになっている。公民だけが、全く違う雰囲気を持っている。

採 決 <過半数の賛成により、帝国書院の教科書を選定>

④ 【種目：地図】

委 員 Q 10
研究員

2者の比較説明資料の調査項目1の3つ目の「主体的な地図の活用に関わる問い」が131と142となっている。そのあとの説明でも、大した違い見られないが、各者の評価では◎と○で差をつけている理由を教えてください。

数というよりは、子供たちが問いかけなどを読みながら地図を読み取れるよう考えてい

A10 る。問いかけの中身は、どちらかという帝国書院の方がより子供たちに関連づけるよう促している。東京書籍は「どうなっているのだろう」というような問いかけで、関連付ける問いかけではなかった。その部分で差がつくと考えた。

採決 <過半数の賛成により、帝国書院の教科書を選定>

⑤ 【種目：歴史】

委員 Q11 たくさんある会社がある中で調査していただきご苦労さまでした。ありがとうございます。現在社会、これからの日本ということに関わって、2者を比べると少子化問題、高齢社会問題、グローバル問題、情報化社会問題が、これからも大きな問題になると思う。その記述を見ると、東京書籍が、高校生が投票している写真や人口の変化を取り上げたり、在日外国人の推移の変化を取り上げていたりしている。少子化の問題も取り上げている。帝国書院の方は、ウクライナ侵攻の写真を入れるなど新しいところを取り上げているが、これが日本の課題と思うと弱いのではないか。2年生の段階でここまでやっておいて、公民へ繋いでいくことが大事だと考えると、この現代社会の捉えについてはどうなのだろうかと思った。

研究員 A11 近現代史だけを取り上げて調査したわけではないので、一概には言えないが、東京書籍と帝国書院の編集のスタンスの違いがあると思う。帝国書院の236、237ページ戦争の終結のところ、東京書籍の270、271ページをご覧ください。どちらも終戦の日本の様子をとらえるような学習が位置付けられている。ここに編集の考え方が見えると私どもは考えている。東京書籍は、原発とかそういったものについて、原発写真やひめゆり隊のことがコラムのようにして位置付けられている。写真資料が多く用いられている。帝国書院の270、271ページには、敗戦のときの人々の思いや願いといったところが、詳しく示されている。このように、歴史を分析的にとらえるか、そこに生きていた人々に注目してとらえるのかという点で、非常に差があると感じている。近現代史の入口のところを語り継ぐ人達が減っているという現状を考えると、こういった資料が多く用意されているのは帝国書院というふうに思う。近現代史については、そこまで深く検討はしなかったが、特にそういったところで検討させていただいた。

委員 この歴史の教科書を見せていただき、本当に楽しい。私たちの育った時代の教科書というのは文章ばかりで、写真や図は、1ページに幾つあったかなっていうぐらいだったが、これを見てみたら、持って帰りたいぐらい楽しい。歴史の教科書を見ながら、旅行したり、本を読んだり、そういう楽しみ方も出てくるのではないかと感じて見せていただいた。歴史の教科書としてだけではなくて、国語や数学や英語や音楽やいろんな教科に、これが繋がっていくことだと思うので、そういう繋がりのある授業もお願いをしたい。

委員 Q12 大変わかりやすい説明ありがとうございました。コーナーとか、囲み記事というようなことについては、非常によく分かった。本文について少し伺いたい。教科書をあまり読まなくて授業が進んでいくような姿が現場でちょっとあるような気がする。特に教科書の中の、グラフとか資料とか、そういったものは、着目する場面が多い気がするが、本文の活用がちょっと少ない気がする。それは教科書の特質もしれないが、これから、個別最適な学びとなってきたときに、やはり本文っていうのは、大事だと思う。そういう観点からしたときに、本文の書き方は、ほとんど変わらないか、多少なりとも何かあるのかどうかを教えてください。

研究員 A12 本文のことについては、私が授業をするときは、きちっと本文を押さえて、そこに着目しながら授業を進めている。本文のことで先ほどの続きになると思うが、帝国書院の270、271ページ、東京書籍の136、137ページのところをご覧ください。説明が重複するかもし

れないが、戦争終結というところで、東京書籍は、課題について「第二次世界大戦はどのような経過をたどって終結したのだろうか。」という、その経緯を述べている。それに対して、帝国書院は、「世界や日本にどのような影響を与えたのだろうか。」と述べている。ここでも随分違いが出てくるが、この本文もすごく違っている。帝国書院は、「ソ連に対して優位に立つために」というような書き方がされている。東京書籍は、そういう書き方はない。どちらがいいというわけではないが、帝国書院は、敗戦についてのコラムのところや、271ページの広島の子供の日記のようなところが、とても充実されていて、本文とコラムをリンクさせながら、いろいろな見方、考え方を養い、多面的・多角的に考えて、自分なりに今後の日本や平和について考えるという点では帝国書院の方がいいなと考えた。

委員 Q13 2者の比較資料のICT評価で、数字が記載されていないなど他の種目と少し違っている。何か意図があるのか。意見書を見ると2次元コードの数は2者で大きく違っている。ページごとに入っているのと、章ごとに入っているのと、内容的にも帝国書院の方が充実しているように見える。しかし、同じ評価がされている。全てを見てしっかり判断して評価されていると思うが、評価結果を受け取る側としては、他のところと表示の仕方が違って評価の仕方が違うように見えると何かバイアスがあるのかと思ってしまう。同じ評価になっていることについて質問したい。

研究員 A13 確かに数の点では、東京書籍の方が多く、帝国書院が少ないというのはある。特に、帝国書院は章や節の最初にデジタルコンテンツがあり、そこからリンクするようになっている。東京書籍はそれぞれの単位時間ごとにあるが、いきつく内容のところには同じようなところだった。内容の差は、あまりなかった。ただ、子供たちが活用しやすいという点を考えると、帝国書院の方がいいのかなと私は思った。

委員 コンテンツの量としても差があると思った。内容を見ての判断だったと思うが、数字も書いていただいた方がすっきりすると思った。

研究員 数を書かなかったのは、先ほどの地理と同じような感じだったので、そこは省いた。ICT活用の難しい点は、子供たちは1台のタブレットで学んでいるため、1つの資料データをタブレットで見ると他の資料データを自分のタブレット上では見られないということ。操作性について、東京書籍は優れていて、とても活用しやすい。しかし、コンテンツが多い分、それを見る時間が長くなってしまうと、教科書を見たり、対話したりする時間が減ってしまう。バランスが難しいところだったが、歴史はこのように評価した。

議長 教科書発行者も長い教科書作りの中で、過去の歴史については、ノウハウを蓄積していて、大きな差は出にくくなっていると思っている。教科書発行者による個性が出やすいところはやっぱり現代史だと思う。言葉に語弊があるかのもかもしれないが、現代史の部分に、教科書発行者の力量が出ると私自身は思っている。先ほどの委員さんがご指摘されたことはその部分かなと思うし、私もその点については同感である。ただ、すべての部分について詳細に時間をかけて精査したわけではないので、時間をかけて14人で研究調査をされた先生方の意見は大事だと思っている。

採決 <過半数の賛成により、**帝国書院**の教科書を選定>

⑥ 【種目：公民】

委員 Q14 帝国書院の186ページ、東京書籍の187ページに北方領土の問題が載っている。帝国書院の方は、「ロシアと交渉を続けてきたけど、2022年のウクライナ侵攻を受けて、今、交渉が中断している。」と、非常に新しい内容が盛り込まれている。東京書籍の方は、「粘り強い交渉を続けています。」とあるが、これから4年間使う教科書として、新しいことが入った方

がいいのか、或いは、「突然、明日ウクライナ戦争が終結して、またロシアとの交渉が再開するかもしれない」ということも考えられる、そういう観点から見ると、どちらの教科書がよいか。

研究員
A14

教員の指導の判断になってくる部分も含まれてくるかと思う。教科書の記述内容としては、ウクライナ情勢については、東京書籍は、「侵攻によって難民が大量に発生して、ヨーロッパ、特にポーランド等で混乱をきわめている。」という内容だった。帝国書院は、その侵攻ということに付記されている部分については「国際法に違反をしている」ということで、諸外国の状況についての記載があった。これは事実に基づいてそれぞれ教科書会社の捉えが違ふということもある。子供たちがどう学んでいくかについて幅広くとらえた場合、例えば教科書の左サイドに掲載されている授業の最初に見る資料については、帝国書院の方は、現在に関わる資料や写真等が割と多い傾向があった。東京書籍については、題材が掴みやすいような写真等で資料を提示することが多かった。現在の事実、特に社会情勢、ウクライナについては、詳細な記述があったのは帝国書院だと認識している。

委員

社会科の冒頭の協議で、教科書会社が変わってもいいかという意見があったが、歴史と公民は、公民の中にも歴史的問題が多くあってかなり重複する。その点で、今までの社会科の種目はすべて帝国書院で決まってきた。このまま採決を取ると、◎が多い東京書籍になると思う。しかし、先ほど議長さんがおっしゃったように、者によってかなり歴史認識も違う。私の個人的な意見としては、教科書会社は、社会科という観点からするとそろえた方がいいような気がした。

研究員

公民分野での調査とその話し合いの中で、子供たちがどのような思考をもつのかということが論点としてあがった。社会科を学ぶことについて、子供の実態にもよると思う。これからの社会を生きていくという観点から見た場合、自分の考えをもつということ、その考えが交流できることが、論議の中では大きくなった。選定をする中で、間口が広い教科書。どの実態の生徒が見ても掴みやすい、意見がもちやすい教科書。そして、最終的な出口に行く中で、自分の考えをもって自分の考えを交流する。そして、他者の考えを受け入れていく。そして、よりよい考えを生み出していく。その過程が、掴みやすい教科書という判断でこのような評価をした。

委員

◎2個分の差があるが、この差はかなり大きな差なのか。

Q15

研究員
A15

こちらに関しては我々も正直迷ったところではある。1つ目の「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られるよう工夫がされているか」については、先ほどの話に繋がるが、自分なりの考えをもつという点での差は大きいと私は判断をした。「ICTを活用した活動の充実のための工夫がなされているか」という点については、個別最適な学びにも繋がるが、思考ツールが重要になってくるので、思考ツールが非常に使いやすい状況にあるかという点になる。東京書籍はそこに直接ジャンプする。帝国書院の思考ツールもあるが、選択をするという形になっている。いろんな資料を集めて、自分なりの追究をする場合は、帝国書院のツールの方が、多様な資料が充実しているので使いやすいと感じた。「ICTを活用した学習活動の充実のための工夫がされている」という点については、微妙な差であったと認識している。

採決

<過半数の賛成により、東京書籍の教科書を選定>

⑦ 【種目：数学】

委員

7者の調査研究、お疲れさまでした。調査研究の中の「東濃地区の子供たちに」という点

については、今の説明で非常によく分かった。特に数学については、章や節をめくったときに、どういう言葉が、そのスタートに書いてあるかということも子供たちの興味関心を引き込むためにとっても大切な要素だと思う。例えば中学校1年生で初めて正の数・負の数の加法減法を学習するときに、東京書籍は、「正の数・負の数の足し算はどうなるのかな」という文言で問を出している。教育出版は、「正の数・負の数のたし算の仕方を考えてみましょう」と書いてある。この2つを比較しただけでも、子供たちの思考を広げたり深めたりする問いかけは、東京書籍の「どうなるのかな」という問い掛けの方が、いいなと思った。1年生も2年生も3年生の教科書の見出しを見ただけでもそういうことを非常に強く感じた。

議長 Q16 先ほど出た3者のデータの中について、2次元コードの数が2者は多かったが、1者については、とびぬけて少なかったが、これは何か原因があるか。

研究員 A16 その1者については、今回の改定で新しい教科書を出していない。これまでの教科書を出しているのでも、数が少なくなっている。QRコードを読み込むと関係するサイトのホームページに進み、そのサイトに問題がいくつか出てきたりすることはあった。QRコードから、教科書会社の問題等がデジタルで出てくる数だけを数えると、これだけの量にしかならなかった。

議長 Q17 数が少なかったのは、大日本図書か。

研究員 A17 はい。

議長 巻末を見ていただくと大日本図書については、令和3年2月、検定受検済みということになっている。他の発行者については、令和6年の2月ということで、大日本図書については、新聞等で報道があった通り、採択にかける検定を受けることができなかったという事実があり、新しいバージョンを出せずに、前回バージョンで出てきているということで確認をさせていただく。

採決 <全員一致により、東京書籍の教科書を選定>

⑧ 【種目：理科】

委員 Q18 理科を学ぶ意義・有用性を実感させるためにも、科学的な探究活動の過程を大事にしなくてはいけない、そのために使う教科書でなくてはいけない、その視点から詳しく示していただいたので、とてもありがたいと思った。東京書籍と啓林館で、明確な差があるところが、系統性とか発展性の部分だった。この部分は啓林館もとっても工夫がされているが、この点において東京書籍が◎であるという、明確な根拠がさらであれば説明をお願いしたい。

研究員 A18 東京書籍の系統性・発展性に関して、最も優れているなど思ったのは、他教科との関連の部分で、必要など所に各所に配置されているというところである。例えば力の合成分解で、数学で学ぶ三角形の図形の部分を活用しなければ思考ができないところがあるが、そういうところで、その数学の内容が示されているので、それを見て活用しながら学習できるということが非常に優れていると評価した。

採決 <全員一致により、東京書籍の教科書を選定>

⑨ 【種目：音楽一般】

委員 Q19 音楽では、同じ教材で2者を比較して提示してくださったので、大変よく分かった。資料についても、どのような違いがあるかがよく分かった。系統性・発展性という点から、小学

校との接続、小学校の教科書の関連で、音楽を形づくっている要素をどのように9年間で育てているかについて、もう少し2者について教えていただきたい。

研究員 A19 音楽を形づくっている要素というページについて、教育出版は目次の後のあたりに、「どの教材曲で、どんな音楽を形づくっている要素が取り扱われているのか」というようなまとめのページがある。教育芸術社は、最後のあたりに、音楽を形づくっている要素については、前のページに戻ると、どのように勉強したかについて載っている。また、学びの地図というものが、前の改訂のときから、必要性が高いと言われてきた。どちらの教科書も、学びの地図にあたるものが、目次のページ付近にまとめられていて、小学校から音楽を形づくっている要素というもので貫かれている。系統性・発展性というものを踏まえて、授業を構成していくことができる。

採決 <全員一致により、教育芸術社の教科書を選定>

⑩ 【種目：音楽器楽】

委員 どちらがいいかという問題ではなくて、太鼓や琴の保有数が、とてもたくさんあるということまで調べていただき、子供たちが、伝統芸能をこれからもずっとやり続けていけることも配慮もしてくださったことが、非常にありがたいと思う。歌舞伎も教科書に出ていることだけではなくて、おじいちゃんがやっている、町内の方々がやっている、そして、お祭りでも自分たちもやる。そういうことで、音楽、楽器に興味をもつ子供たちをつくっていく。そういう配慮がとてもうれしく思った。

委員 この度は音楽の楽しさを伝えてくださり、ありがとうございます。私自身、子供の時、音楽の授業はとても楽しかったし、大好きだった。今回、教科書を拝見させていただいて、これは本当に音楽の教科書なのかなと思うぐらい、情報量が多いことにびっくりした。今の子供は簡単にスマホやタブレット等から情報を収集することは可能だが、それを収集するときも、まず自分で検索項目を入力しなくてはいけない。そこで、まず知識が必要になるが、音楽の教科書っていうのは、開けば自分の知らない音楽の世界がこんなにもあるのかという情報がいっぱいなことに驚いた。どちらの出版社も素人からしたら、とても素晴らしい教科書だと思った。先生方が指導しやすい内容を見ると、教育芸術社の方が、ちょっと比重が重いかと思った。瑞浪市も地歌舞伎に力を入れて広めようと頑張っている最中だが、地場のものを取り入れて、子供たちがイメージしやすいような教科書がつけられていると思い、親の立場からしてとても分かりやすく親しみやすい教材だと思った。

採決 <過半数の賛成により、教育芸術社の教科書を選定>

⑪ 【種目：美術】

委員 Q20 3者の教科書を詳しく説明いただいて大変よく分かった。教科書改訂が行われるたびに美術については、生徒の作品、作家作品が鑑賞の資料として使えるよう大変充実してきていると感じる。今回の教科書に載っている作品についても、これまでにないようないろいろな工夫や充実もあるかと思う。3者について、鑑賞の学習として使うにあたって、優れている点、よくなっている点があれば紹介していただきたい。

研究員 A20 どの教科書も、生徒作品を扱うところは共通している。それによって生徒に共感を呼び、目指す作品がイメージしやすいと思うが、特に調査していく中で、日本文教出版の教科書について、生徒作品が多く扱われているという、調査報告があった。

採 決 | <全員一致により、日本文教出版の教科書を選定>

⑫ 【種目：保健体育】

委員 Q21 調査研究を詳しくまとめていただき、ありがとうございました。一人一人の学んだ知識を自分事としてとらえて自分の心と体を見つめ直して、それをまた改善していくという授業の流れが増えてくる。協働的な学びの部分で、私たちが授業を進めるにあたって、この両者どちらがより協働的な学びについて、進めやすいものであるかということが1点目。2点目は、がん教育が、最近強く求められていて、充実させていかななくてはいけないと感じているが、この両者の教科書についてがん教育という点で、充実しているところがあったら教えていただきたい。

研究員 A21 協働的な学びについては、どちらの教科書も授業終末において、「話し合ってみよう。友達と意見を交流してみよう。」という活動が、ところどころに位置付けられている。どちらが多いということではないが、一人一人の個別最適な学習をした後に、それを交流してさらに考えを深めるという活動が、どちらも位置付けられている。また、がん教育においては、がんの発生や進行の仕組みの知識、がんの要因からがんを予防するために、自分自身の生活を振り返るといった学習内容が位置付けられている。東京書籍では、章末の資料として、「がんについてもっと知ろう」ということで、治療方法とか、がんの正しい情報の集め方などを発展して学ぶことができるように、資料が作られている。

委員 薬物乱用についてのところだけ見せていただいた。東京書籍の方が本当に社会的な影響のことまで考えてあって、非常に危機感が迫る描写がたくさんあった。絵もかわいくなって、私は、こちらの教科書を是非とも使っていただきたいと思った。

研究員 東京書籍と大修館のイラストなどを比べると、大修館の方が、かわいらしくなっている。項目によっては、東京書籍の現実に近いようなイラストの方がいいと思う。

採 決 | <全員一致により、東京書籍の教科書を選定>

⑬ 【種目：技術】

委員 Q22 3者の特徴を比較しながら説明していただき、大変分かりやすかった。自分が技術を教えるときに、やり方を見せて、ポイントを押さえて、実際の作業に移るということをする。免外の先生が教えるときに、動画等があると、ポイントが非常に抑えやすかったり、見やすかったりと思うが、2次元コードの動画等で、どんな違いがあるのか、また、分かりやすいところがあれば教えていただきたい。

研究員 A22 のこぎりの引き仕方やはんだ付けの仕方などの実技面の動画に関しては、どの者にも載っているのを使うことができる。ひとまとめにしているか、部分的にカットしているかという区切り方が違って、それが数の違いになっている。内容的には一緒だと思う。現行の教科書にも載っているのだから、大きく進歩したというよりは、継続して載っているということだと思う。今回はプリントや資料が、デジタル教科書並みにいっぱい出ているので、先生方が、プリントアウトして準備しなくても使えるというところが、今回は、よくなっている点だと思う。

委員 Q23 免許外の方が、教えやすいかについて、実技面では、開隆堂が一番教えやすいように思ったが、3番目の評価の「教員の経験年数に関わらず」というところは、東京書籍が◎、開隆堂が○ということで、先ほどの説明とちょっと違うかなというような印象を受けたが、いかがか。

研究員 今の技術科は質的に変わってきて、端的に言えば、昔みたいに実習をして作るだけの教科

A23 ではない。「技術はこういうものであって、社会とはどういう繋がりがあるか、それを見分けられる人材になろう」というのが今の技術科の流れである。少し踏み込んで言うと、開隆堂は、従来型の作る、設計するということでは指導しやすいと思う。免許外の方で、そういう新しい技術科の流れが、まだ、分かれていない方にとっては、開隆堂の方がいいかと思うので先ほどの齟齬が出てくると思う。今の流れは、最適解とか見方・考え方、いわゆるコンピテンシーの授業になりつつあるので、学習指導要領の趣旨から言えば、東京書籍の内容をお勧めする。そのときに、非常に抽象的な内容なのでどのように指導するかが難しい部分なので、それが詳細に書いてある東京書籍が一番いいのではないかとということで◎になっている。

採決 <全員一致により、東京書籍の教科書を選定>

⑭ 【種目：家庭】

採決 <全員一致により、東京書籍の教科書を選定>

⑮ 【種目：英語】

委員 Q24 大変詳しくて、よく分かった。デジタルコンテンツについて、デジタル教科書も含めて、追加の課題や自主学習ができるような課題等が入っていると思うが、それについて先生方が進捗を確認できる機能はついているか。

研究員 A24 現状で言うと、国の実証事業と合わせて、英語については小学校5・6年生、中学校1・2・3年生は、学習者用デジタル教科書も、紙の教科書と併用して使えるようになっている。デジタル教科書だけで購入する場合とデジタル教材を併せて購入する場合があり、現行のものでいうとこれは別々になっている。新しい教科書については、今現在、教師用の学習デジタル教科書がまだ示されていないので、そのリンクについては、確認することができない。

委員 Q25 個々の生徒たちがどこまで自分でやったのかという確認はできないということか。

研究員 A25 現状で言うとそうなる。

委員 Q26 教師用デジタル教科書ができた場合には、それができるようになる可能性もあるということか。

研究員 A26 はい。可能性としては、発音のチェック機能とか、音読の採点機能などもあるので、生徒自身は自分の英語力の伸びを確認しやすくなっている。それを教師が確認できる仕様が付いていれば、評価に生かしていくことができると考えている。

委員 Q27 東京書籍と開隆堂と三省堂と3者を比較したときに、東京書籍が◎の数が多いが、東京書籍が◎である根拠を少し補足で説明いただけるとありがたい。特に、言語活動を通して子供たちが自分の考えや気持を表現するという英語の活動の特質にも関わってくる部分なので、具体的にこの教科書のこのページでと説明いただきたい。東京書籍で優れているところを教えてください。

研究員 A27 研究委員会でも、教科書の良さについてずいぶん悩んだ。結果的にこのようになった。端的に言うと、東京書籍のデジタルコンテンツの豊富さ、学習者用デジタル教科書の使いやすさ、それを踏まえた結果がこの◎の数に繋がっている。題材の内容や、活動の仕組み方とか、今回学習指導要領が変わって2回目の改定なので、各者それぞれ工夫がある。2年生だ

と、それぞれ日本の文化や日本のことを海外に紹介するという単元が組まれている。「NEW HORIZON」だと、40 ページからのステージアクティビティでは、「自分の一番好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる」というねらいで、目的場面・状況を明らかにした上で、42、43 ページにある寿司やラーメン、お好み焼きといったものの英文の読み取りを生かして、自分が紹介したい日本食の表現に生かしていくというようになっている。また、学習者デジタル教科書では、音読の機能が充実しているので、マスクをして音読練習が学校でも家庭でもできる。マスクをする単語の数も自分の英語のレベルに合わせて選ぶことができる。スピードも調整することができる。サンシャインでは、88、89 ページにボランティア活動を外国の人に説明するというチラシを用いた日常的にありふれたオーセンティックな教材を使って活動が進められている。「NEW CROWN」では、108、109 ページに日本食や日本の観光スポットなど複数の内容を踏まえて、観光マップを作るという活動や季節ごとの行事などを説明する活動が仕組まれている。こういった活動が、2つから3つの単元を通した後にもとめの大単元として組まれているので、教科書自体の構成としては、この3者が同じような構成になっているということが分かる。

委員 Q28 英語の教科書に QR コードが載っていて、さらにデジタル教科書とかデジタル教材など、今後デジタル化に向かっていると思うが、来年度から4年間の間は、実際の授業では、教科書と QR コードで授業をやって、デジタル教科書を授業内で使うということについてはどのようになっているか。先般の全国調査でデジタル教科書だけ使っているのは全国の4%ぐらいとか発表あったが、当面は、教科書とデジタル教科書の併用だと思うが、今後の方向性としてはどのようになるのか。

研究員 A28 現状でいうと、紙の教科書とデジタル教科書の使用の比率は半分半分を目安にということ、英語教諭は授業を進めている。先般の新聞にあったようにまだ活用については、生徒の実態に合わせて、各学校でまちまちになってくると思う。学習者のデジタル教科書は子供たちが学校で使っている1人1台端末の中に入っている、基本、生徒は学習者用デジタル教科書を使うか紙の教科書を使うか自分で選んで、授業の読む活動や書く活動に取り組んでいくことになると思う。QR コードの使用については、1人1台端末を家に持ち帰らせているか帰らせていないかというところで違いがあるが、家に帰って親のスマホや自分の持っているコンピューターで読み込みこめば、1台端末が学校にあっても学校と同じように音声などに触れながら活動ができるという点で活用は進んでいくと思う。「NEW HORIZONS」の QR コードは読み込むとそのページに入ってすぐ活用が始まるが、他者のものについては同じページで、そこからその単元に入っていかなければいけないという1つ手間がある。全国学調についても、英語は話すことについては CBT 化が始まっている。その次の次からは、全教科コンピューターをベースにして、全国の調査を進めていくのでデジタルの活用はこれからますます進んでいくと思う。

採決 <過半数の賛成により、東京書籍の教科書を選定>

⑩ 【種目：道徳】

委員 Q29 道徳が教科書に入って、新しいと思う。導入時は点数をつけないように聞いているが、道徳は答えがたくさんあって難しい教科である。今はどうなっているのか。教員でない方もいるので、現状を教えてください。

研究員 A29 点数化して評価するという事は行っておらず、生徒の変化等をとらえたものを、所見等で生徒に還元する方法にしてお知らせするという形をとっている。

委員 2者がわりと接戦している。資料がいいということだと思う。道徳は資料がよくないと授

Q30 業をやる方としてはやりにくいし、子供がのってこないで、資料は命だと現役時代は思っていた。2者を比べたときに、そういうふうにとらえていいのかどうか。文教出版にはノートのようなものがついている。このような記録用紙は案外残らないが、このようなものが付いているとお得感があったり、評価もしやすかったりするかもしれない。資料の中身について見たときにはどうかということが分かれば教えていただきたい。

研究員 A30 端的に結論を述べるとすると、東京書籍の教科書が若干、少しずつ行き届いている。ちょっとした配置とか、QRコードに一言そえてあるとか、発問の構成とか、トータルして、少しずつ痒いところに手が届いているという印象がある。資料の中身については、やってきた授業スタイルもある。個人的には他者の資料に扱いやすいものがあった。その辺りも調査研究員と話し合う中で、細分化した調査項目の結果と、我々が結論づけた点数の最終的な判断は、私たちの感覚と一致しているか一致していないかというところは十分議論をした。最終的にトータルして、いろんな先生、いろんな生徒にとって、扱いやすい配慮がされているとう点で決定づけた。記録用紙についても話題になったが、毎時間ほぼ同じような内容の記録用紙が続くことがいいのかどうかも考えた。学習内容を制限するような、足かせになるリスクもある。巻末にいろんな種類の振り返りシートを載せてある教科書会社もあったので、あえてここに対して加点は考えなかった。

採 決 <全員一致により、東京書籍の教科書を選定>

会 長 中学校用教科書の選定が終了したので、選定結果を確認する。

- 【国語】・・・・・・・・・・・・・・・・・・光村図書出版
- 【書写】・・・・・・・・・・・・・・・・・・光村図書出版
- 【地理】・・・・・・・・・・・・・・・・・・帝国書院
- 【地図】・・・・・・・・・・・・・・・・・・帝国書院
- 【歴史】・・・・・・・・・・・・・・・・・・帝国書院
- 【公民】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍
- 【数学】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍
- 【理科】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍
- 【音楽一般】・・・・・・・・・・・・・・・・・・教育芸術社
- 【音楽器楽】・・・・・・・・・・・・・・・・・・教育芸術社
- 【美術】・・・・・・・・・・・・・・・・・・日本文教出版
- 【保健体育】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍
- 【技術】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍
- 【家庭】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍
- 【英語】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍
- 【道徳】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍

以上を、令和7年度使用中学校用教科用図書の採択原案とする。

(2) 令和7年度使用小学校用教科用図書の提案

・事務局より、次の通り提案

- ① 令和7年度使用小学校用教科用図書については、直近の採択替えが令和5年度のため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条の規定により、令和6年度と同一の教科用図書を使用することとする。
- ② 全ての教科書について、これまで不都合や採択の公正を欠くという報告、教科書展示会でのご意見はなかった。

- ③ 令和7年度使用小・中学校用教科用図書一覧に、選定いただいた中学校用教科書を加え、東濃採択地区の採択原案とする。

＜全員一致により、事務局提案を可決＞

5 諸連絡

- ・採択に係る情報の公開は9月1日からとなる。8月31日までは、情報の保持や公正確保に十分留意願いたい。前回及び今回の協議会配布資料につきましても、終了後回収するので、机上に残していただき、持ち帰らないようお願いしたい。
- ・地区協議会関係文書については、事務局である中津川市教育委員会が窓口となる。

6 東濃採択地区協議会副会長 あいさつ

- ・積極的で建設的な意見、今後このように活用して欲しいという意見、ありがとうございました。
- ・持ち帰って読みたい、日常生活でも使いたいという教科用図書ばかりだった。研究員も観点を絞って提示いただいた中で、皆さんの総意のもとに教科用図書の原案が選定されたことを本当に感謝申し上げます。
- ・今後、各校の教員がどのように使用していくかが大切。教育委員会でも教科用図書の活用状況などを確認しながら、次の採択に向けていきたい。